

製品名: ガレクチン-3(8D7)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM11273**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	LGALS3 LGALS3; MAC2; Galectin-3; Gal-3; 35 kDa lectin; Carbohydrate-binding protein 35; CBP 35;
別名	Galactose-specific lectin 3; Galactoside-binding protein; GALBP; IgE-binding protein; L-31; Laminin-binding protein; Lectin L-29; Mac-2 antigen
遺伝子 ID	3958.0
SwissProt ID	P17931
免疫原	タンパク質

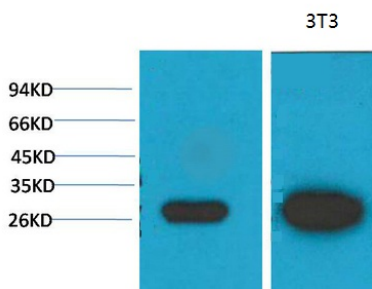
背景

この遺伝子は、糖結合タンパク質であるガレクチンファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、 β -ガラクトシドに親和性があります。コードされているタンパク質は、N末端のプロリンリッチなタンデムリピートドメインと、単一のC末端糖鎖認識ドメインを特徴としています。このタンパク質は、N末端ドメインを介して自己会合し、多価糖リガンドと結合することができます。このタンパク質は、細胞外マトリックス、細胞質、核に局在します。このタンパク質は、アポトーシス、自然免疫、細胞接着、T細胞制御など、多くの細胞機能に関与しています。このタンパク質は、細菌および真菌に対して抗菌活性を示します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年10月]、機能: IgEに結合するガラクトース特異的レクチン。 $\alpha 3$ 、 $\beta 1$ インテグリンと共に、CSPG4による内皮細胞遊走刺激を媒介する可能性がある。DMBT1と共に、初期胚発生における円柱上皮細胞の終末分化に必要である。、オンライン情報: ガレクチン3類似性: 1つのガレクチンドメインを含む。、細胞内局在: 腺腫および癌腫では細胞質内に存在する。非古典的な分泌経路によって分泌され、細胞表面に結合している可能性がある。、サブユニット: おそらくホモ二量体またはヘテロ二量体を形成する。DMBT1と相互作用する(類似性による)。ITGA3、ITGB1、およびCSPG4と複合体を形成する。LGALS3BP、LYPD3、CYHR1、およびUACAと相互作用する。、組織特異性: 結腸上皮で主要な発現が認められる。活性化マクロファージにも豊富に存在する。、

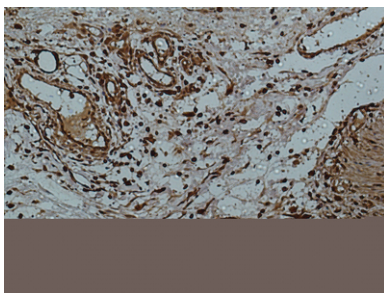
研究分野

神経科学

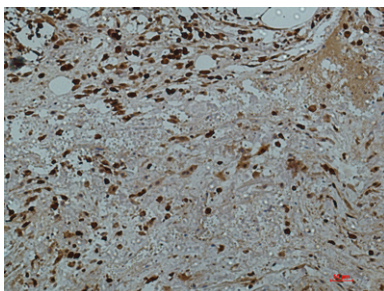
画像データ



1) MCF7、2) 3T3 を 1:2,000 に希釈した Galectin-3 Mouse mAb でウェスタンブロット解析した。



1:50 に希釈した抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。



1:50 に希釈した抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸2の免疫組織化学分析。

